

# IR

第57期第3四半期  
営業のご報告

2020年4月1日～12月31日



## ■ 恵方巻の状況について

元来、2月3日\*の節分に、その年の恵方を向いて願いを込めながら巻寿司を丸かぶりする「恵方巻」の文化は、関西の一部の地域の慣習でしたが、今では、テレビなどで取り上げられる程、全国的な慣習として根付いています。今年は、新型コロナウイルス感染症の厄災祈願や、外出自粛による家庭内での喫食率の上昇により、恵方巻は例年以上の盛り上がりを見せました。

数年前には、恵方巻の食品ロスが話題が注目されましたが、予約販売のウエイトを高め、店舗に並べる数量を少なくするなど、メーカーと販売店舗が協力することで、年々、廃棄ロスを削減しています。また、最近の傾向としては、1本を丸かぶりするよりは、数種類の巻寿司が入ったセット販売が人気ようで、家族で色々な巻寿司をシェアするご家庭が多いようです。

2月3日の節分が注目されがちですが、本来節分とは、季節の変わり目(立春・立夏・立秋・立冬)の前日を指す言葉で、年に4回あります。当社では、この年に4回の節分の日を『巻寿司の日』として記念日登録していますが、冬の節分(2月3日)以外は、まだまだ認知度が高くありません。

当社は、日本一の巻寿司食材メーカーとして、日本の伝統食巻寿司の魅力を伝えていくことが、社会的使命であると考えており、『巻寿司の日』を通じた巻寿司文化の啓蒙活動にも力を入れています。その一環として、『あじかんMAKIZUSHI倶楽部』を立ち上げ、巻寿司の歴史や節分の由来などを伝える巻寿司教室の開催や、SNSを中心とし

た巻寿司に関する情報発信・『巻寿司の日』に合わせたキャンペーンなどを展開しています。

また、全国各地の食のスペシャリストや巻寿司愛の強い方々を「巻寿司大使」として任命させていただき、ともに巻寿司の普及に努めています。



▲「巻寿司キャンペーン」開催案内

当社は、これからも、ハレの日を祝ってきた昔ながらの巻寿司の思いを大事にしつつも、好きな具材を何でも巻けて、世代や国を超えて楽しめる今の時代に合った新しい巻寿司も提案することで、巻寿司文化をより魅力的なものにしています。

(※)今年の冬の節分は、124年ぶりに2月2日でした。1年は365日ですが、丁度365日ではないため、暦へ影響がすることがあります。2021年では、立春が2月3日となったため、節分がその前日の2月2日となりました。



## ■ 事業所移転開設



▲事務所

2021年2月17日、呉営業所(広島県呉市光町)を移転開設しました。これまで呉営業所では、商品保管スペースが狭く、一部の商品を他の営業所で保管していました。また、個別のキッチンがなく、調理がしづらい環境でした。

今回の移転で、十分な広さの冷凍冷蔵庫を完備するとともに、事務所とキッチンを分離することで、商品の配送や試作品の調理などの作業性が改善され、より効率的に営業活動をおこなえるようになりました。



▲キッチン

### 所在地

〒737-0831  
広島県呉市光町11-14  
TEL:0823-24-0695  
FAX:0823-24-0629

## ■第3四半期 連結貸借対照表

科 目	前連結 会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	2020年3月31日現在	2020年12月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	10,945	※1 12,986
現金及び預金	1,909	1,432
受取手形及び売掛金	4,905	7,323
商品及び製品	2,407	2,556
仕掛品	34	29
原材料及び貯蔵品	1,331	1,198
その他	377	466
貸倒引当金	△ 20	△ 20
固定資産	13,161	※2 12,846
有形固定資産	11,079	10,653
建物及び構築物(純額)	4,069	3,903
機械装置及び運搬具(純額)	2,553	2,291
土地	3,789	3,804
リース資産(純額)	117	147
その他(純額)	548	506
無形固定資産	331	371
ソフトウェア	243	291
リース資産	19	23
のれん	65	53
その他	2	2
投資その他の資産	1,750	1,821
投資有価証券	629	680
長期前払費用	1	0
繰延税金資産	107	45
退職給付に係る資産	196	235
その他	893	938
貸倒引当金	△ 77	△ 79
資産合計	24,106	25,832

(単位:百万円)

科 目	前連結 会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	2020年3月31日現在	2020年12月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	9,702	※3 11,340
支払手形及び買掛金	2,623	3,909
短期借入金	5,127	5,303
リース債務	58	71
未払法人税等	114	13
賞与引当金	328	155
役員賞与引当金	41	34
ポイント引当金	—	96
その他	1,409	1,755
固定負債	1,751	※4 1,708
長期借入金	1,399	1,385
長期未払金	180	130
リース債務	95	117
資産除去債務	53	53
繰延税金負債	21	19
その他	1	1
負債合計	11,454	13,048
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	12,443	12,555
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	10,306	10,418
自己株式	△ 64	△ 64
その他の包括利益累計額	208	228
その他有価証券評価差額金	83	124
繰延ヘッジ損益	5	△ 4
為替換算調整勘定	119	108
純資産合計	12,652	12,783
負債純資産合計	24,106	25,832

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,040百万円増加し、12,986百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加2,418百万円、商品及び製品の増加148百万円、現金及び預金の減少476百万円であります。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ315百万円減少し、12,846百万円となりました。これは、投資その他の資産において、株価上昇に伴い投資有価証券が増加したものの、減価償却の進行に伴い有形固定資産が減少したためであります。

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,637百万円増加し、11,340百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加1,286百万円、短期借入金の増加176百万円、賞与引当金の減少173百万円であります。なお、当第3四半期連結会計期間より、ポイント引当金の計上をおこなっております。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、1,708百万円となりました。主な増減要因は、リース債務の増加22百万円、長期未払金の減少50百万円であります。なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ162百万円増加し、6,689百万円となっております。

※5 業務用食品等は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する厳しい経営環境の中、スーパーマーケットを中心とした中食業態への可能な限りの提案・販売促進活動を展開し、売上高の減少を最小限にとどめる努力をおこなってまいりました。しかしながら、外食・仕出し・給食業態に加え、輸出・海外子会社の売上が大きく低下したことや、繁忙期である盆の需要減少が大きく響いたほか、自然災害による一時的な需要減少などもあり、前年同四半期実績を下回る結果となりました。

ヘルスフード事業では、新製品の菊芋ごぼう茶や生姜ごぼう茶の売れ行きが好調なことに加え、テレビCMや紙媒体、電子媒体などで販売促進・広告活動を積極的におこなった結果、定期顧客数が増加し、通信販売の売上は前年同四半期実績を上回る結果となりました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上も、新規開拓やインスタプロモーションの強化をおこなったことに加え、2020年9月に機能性表示食品としてリニューアルしたごぼう茶や、新製品のごぼう茶ミルクの導入効果もあり、前年同四半期実績を上回ることができました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、31,961百万円(前年同四半期比6.0%減少)となりました。

※6 利益面につきましては、徹底的な経費抑制に努めてまいりましたが、売上高の低下に伴う粗利益の減少分を吸収するには至らず、営業利益は342百万円(前年同四半期比21.8%減少)となりました。経常利益はデリバティブの時価評価損などにより、360百万円(同29.7%減少)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円(同38.1%減少)となりました。

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

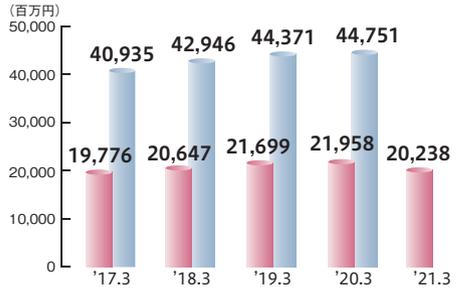
## ■第3四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

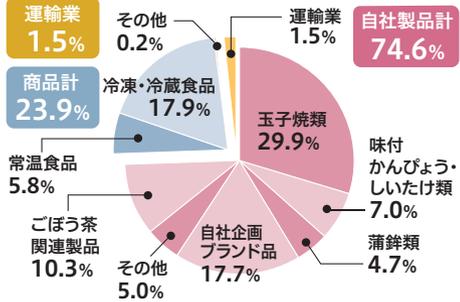
科 目	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
	2019年4月1日～ 2019年12月31日	2020年4月1日～ 2020年12月31日
売上高	34,017	※5 31,961
売上原価	25,063	23,399
売上総利益	8,954	8,562
販売費及び一般管理費	8,516	8,219
営業利益	438	342
営業外収益	156	147
営業外費用	81	129
経常利益	513	360
特別利益	81	35
特別損失	3	4
税金等調整前四半期純利益	591	391
法人税等	227	166
四半期純利益	364	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	364	※6 225

## 連結業績の推移

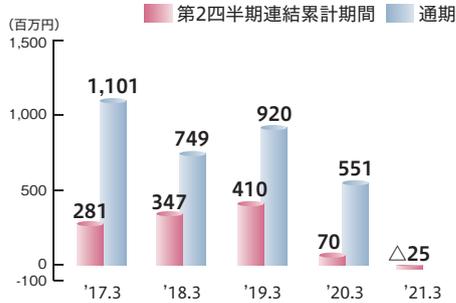
### 売上高



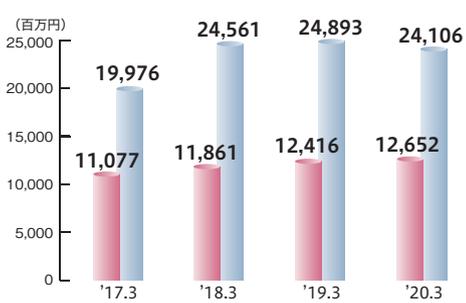
### 売上構成比('21年3月期 第2四半期連結累計期間)



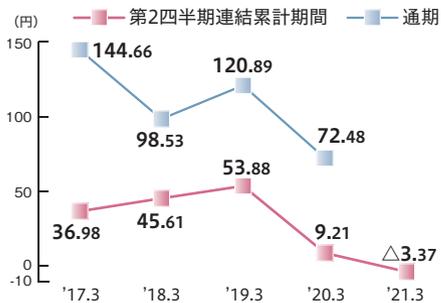
### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(純損失△)



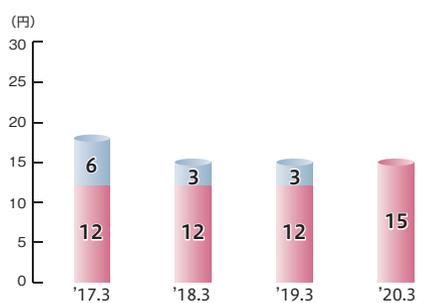
### 純資産・総資産



### 1株当たり当期(四半期)純利益(純損失△)



### 1株当たり配当金



注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株価・出来高の推移 ※東証2部市場

証券コード：2907



### 日経平均株価とあじかん株価の推移の比較



# IR Information

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 (定時株主総会) 3月31日  
(期末配当) 3月31日  
(中間配当) 9月30日(今期中間配当は未実施)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部
- 公告の方法 電子公告  
(公告掲載URL) <https://www.ahjikan.co.jp/>  
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

### 【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

### 会社概要

- 商号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)
- 設立年月日 1965年3月19日 (創業 1962年)
- 主要な事業内容 鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の製造、  
販売、および卸売、農産物の生産、販売、ならびに運輸業



- 小誌についてのご意見は『膳』P.18の「読者からのお便り」までお寄せください。●